

2017センターテスト【B・追試験】解説

△は特に易しい、▼はちょっと難しいと思う小問。あくまで個人的感想です。

第1問 テーマ史で会話文。ただし内容は多彩で史料まで織り込まれている。

問1 ア：史料1は王政復古の大号令。有名史料。「1867年」と年代が書かれているが、「大政奉還の上表」が同年というのが嫌い。「年代さえ暗記すれば…」を真っ向から否定する良問。また、「この日の夜」に「小御所会議」があるというのも、流れ（物語）で覚えている人にはヒントになったはず。

イ：三職に含まれているのは参議ではなく参与。

問2 「癸丑」はペリーの1回目の来航の年だが、実は「1853年にあたる」と問題文に書かれている。これは逆に「年代なんか覚えなくていいよ」と言っているに等しい。①は翌年、②はずっと前、③は明治。

問3 今年の本試験で目立った、幅広い時代に及ぶ選択肢。a：太政官は廃止されていない。この後も左大臣藤原頼長とか太政大臣足利義満とか色々出て来たでしょう。c：「摂家将軍」のこと。d：建武政権は記録所を最高機関とし、天皇への権力集中を計った。だって、「後『醍醐』」だけ。

△問4 史料2は日本開化小史で、もちろん初見史料。口語だが。しかも設問無関係（笑）。X：大村益次郎はとっくに死んでるし。Y：やはり明治の絵画は「洋画か日本画か」でいいのか…な。

問5 I：吉備真備だから奈良時代。II：宋銭の輸入＝日宋貿易だから平安末～鎌倉。III：曇徴だから飛鳥文化、というか「高句麗」が存在している時点で最古。III→I→II。

問6 X：改易は？ってこと。言われたら気づくけど、用語暗記しかしていない人はこういう問題でつまづく。ナイスな出題。Y：知藩事は版籍奉還。廃「藩」置県で知「藩」事はおかしいでしょう。

第2問 原始古代も史料です。ただ原始が皆無だったのは残念。

△問1 ア：解説不要 イ：縄文を選んだ人は一体いつから縄文だと思っていたのだろうか（笑）。それはともかく、こういう教科書上でも疑義が出ているところを、視点の多様化として入れてきたことは注目。

問2 ①租は都へ運ばない。②計帳は毎年作成。④防人は東国から。いずれも頻出の事項。

△問3 実は「かな文字を用いて」という時点でa・cは脱落する。平易だが、Yの「藤原氏の繁栄を中心に」に反応して「大鏡は『批判的』のはず」と考えた人がいたかも。「中心に」としか書いてないよ～。

問4 Bのリード文は私的にとても勉強になりました。ウは隋にした人もいたかな…。

△問5 ②令→律。これも定番。

問6 史料（『権記』）はもちろん初見史料。しっかり読めば、XもYもそのまま書かれている。

第3問 『新猿楽記』（11世紀）が中世で出題されたことが印象深い。

△問1 ア：「農業技術に精通し」てるんだから。イ：「受領に代わって現地に」なんだから。

問2 X：解説不要 Y：木綿は朝鮮からの重要輸入品で、秀吉の朝鮮出兵で日本が種を手に入れたことで江戸時代になって国産が発達した。…というか、これも定番だ。

問3 b：安倍氏は東北陸奥の俘囚であり平安時代。コシャマインは北海道で室町。遠い遠い（笑）

c：尚巴志の統一は15世紀。島津の侵攻は17世紀で、王は尚寧王。

△問4 ウ：語群をあえて「おとな」という平仮名にしたのは「寄親」に寄せたのかも。

エ：ふつうに宗祇でいいのだが、問題文に光秀を入れたところがなかなか…。

問5 史料は山城の国一揆。超のつく有名史料。そのわりには読解問題だが、有名史料だけにしっかり勉強していた人は楽勝だっただろう。X：「同じく一国内の土民等蜂起」とある。Y：「天下のため、しかるべからざる事か」とある。立場が異なると見方が変わる、という観点からの出題だろう。

△問6 I. 叡尊だけでも鎌倉後期と分かなければならないが（そういう授業をしたはず）、ここでは「蒙古襲来」を教えてくれているので平易。II. 室町。III. 法然は平安末から鎌倉初期。法然門下には、九条兼実・平重衡・熊谷直実らがいる。センターは、ホントに「法然は平安末」が好きだなあ。過去問やるべし。

第4問 近世に算数が出た(笑)。考えすぎると混乱したかも。

- △問1 ア：解説不要 イ：「大日本沿海輿地全図」は伊能忠敬です。確かに幕命だけど…。
- 問2 これも初見史料問題。X：4で割ってるやんか。Y：1行目に書いてあるやんか。
- 問3 ③の「国訴」がうまく理解できていない受験生は多そうだが…。①頼朝じゃあるまじいし(笑)
②公事方御定書は享保の改革。林羅山は江戸初期。④分国法は戦国大名。
- 問4 I：家光で17世紀。II：天保期19世紀。III：享保の改革あたりを中心に18世紀。
世紀単位で判別できるのは江戸としては平易。I→III→II。
- 問5 X：店借は農民でいけば水呑百姓だから。Y：おかげ参りは伊勢神宮。
知っていれば素直で平易な出題だが、受験生には手薄な分野ではないかと思う。
- △問6 どちらも解説不要。

第5問 これを人物シリーズと言っていいかどうか…。設問すべて山川菊栄にすら関係ない。以前から「人物」と設問には関係はないんですけどね。

- △問1 ア・イとも解説不要。かなり易しい。
- 問2 地図問題。本試験では新潟と酒田、石見銀山と生野銀山という割りとガチな選択肢でしたが、追試の方はむしろ易しい。X：これは札幌(a)農学校しかない。bは京都?同志社? Y：もちろん富岡製糸場でd。eは大阪紡績会社か?イギリスかフランスかという以前に「製糸」と「紡績」の違いでOK。
- 問3 「日本国国憲按」はたぶん初見史料だが、読めば分かるし、植木枝盛なんだから読まなくても常識的にこれしかないと思う。XY正誤で①なので、疑心暗鬼をかける罠か?と思うくらい。
- 問4 a：津田の留学はアメリカ。ちょっと細かいが、事実上二択相手のbが平易だから大丈夫のはず。
c：『金色夜叉』は尾崎紅葉。「貫一・お宮」の小芝居を思い出してください(笑)。

第6問 テーマは「国際会議・国際条約」。それって、普通に外交史…。

- ▼問1 X：正文だが知識の穴場かも。Y：最初から民営だったら、電電公社の民営化→NTTは何?
- 問2 a：シュタインはそもそも来日していない。c：神道指令はGHQ。
- 問3 ア：空欄の次の文が重要なヒント。イ：日本最初のストライキは明治(雨宮製糸場)。
- 問4 ①フランス領インドシナ=仏印進駐は第二次大戦期。②もちろん参戦している。
④南洋諸島は旧ドイツ領であり、日本の事実上の支配下に置かれた。
- 問5 b：リンゴの唄は戦後。c：麦と兵隊は昭和の戦記文学。残るのはaとd。
(調べてみたらaは「モダンガール物語」でした。モガは大衆文化ですね。)
- 問6 独立後の出題。②は「参加したが調印しなかった」。「参加せずに調印」ってありえるの?
①も④も結論を急ぎすぎです。
- 問7 Iは吉田内閣、IIは三木内閣、IIIは池田内閣。よってI→III→II。IMF加盟=国として自立、OECD加盟=先進国入り、サミット=主要国と考えれば段階的。
- ▼問8 X：東南アジア4か国(ビルマ・フィリピン・インドネシア・ベトナム)との賠償はサンフランシスコ平和条約とそれに準じた条約による。これはやや難しい。(そもそも会議の主旨が違う)